

2017年度

# 保育士のための レベルアップ勉強会

12/16

(土)

## 案内文

2012年度より、武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科では、保育と子育て支援に携わる保育士を対象に「保育士のための元気アップ勉強会」を開催してきました。昨年度は、保育士の専門性をさらにレベルアップできることを目指して、「レベルアップ勉強会」と改題し、ケーススタディを実施しました。好評だったケーススタディを今年も行いたいと思います。各施設でのケースを提示していただき、参加者のディスカッションや講師からの助言を交えて、実践に役立つ内容を予定しています。現場で子どもや保護者、家族への特別な支援を必要としているケースを担当し、その対応や支援が難しいと感じている方は、専門性を高める機会としてご参加ください。

午前 10:00~12:00

## 「困難を抱える保護者への支援」

講師プロフィール



倉石 哲也 教授

武庫川女子大学文学部/  
大学院臨床教育学研究科教授  
全国保育協議会保育所長専門講座講師  
全国保育士会「主任保育士特別講座」講師  
西宮市子ども・子育て会議会長

著書

「学齢期の子育て支援」  
「家族ソーシャルワーク」

午後 13:00~15:00

## 「発達障害・気になる子どもの援助」

講師プロフィール



石川 道子 教授

武庫川女子大学文学部/  
大学院臨床教育学研究科教授  
小児科医、  
西宮市こども未来センター非常勤医師  
西宮市障害児保育所入所審査会委員

著書

「そだったのか！  
発達障害の世界」  
「可能性のある  
子どもたちの医学と心理学」

## 会場

武庫川女子大学 中央キャンパス  
研究所棟 3階 I-306 教室

## 参加対象

- ① 特別な支援を必要とする子ども・保護者のケース(事例)を担当する保育者
- ② 一施設より2名まで

## 定員

午前 15名 | 午後 15名  
計 30名

## 申込方法

メール  
(FAX・郵便も可)

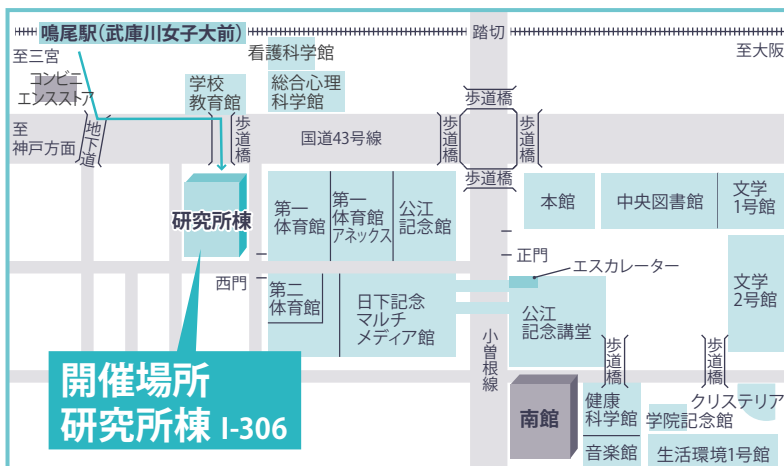
## 申込期間

11/6(月)  
|  
11/25(土)

申込人数が少ない場合は午前のみとします。  
その場合、講師2名とテーマに変更はありません。

## アクセスマップ

〒663-8558 西宮市池開町 6-46 武庫川女子大学 中央キャンパス  
■ 阪神電車鳴尾駅(武庫川女子大前)下車徒歩約7分



※駐車場はありませんので、車、バイクでのご来場はご遠慮ください。

申込み期間は 11月6日(月)~25日(土)です。定員30名となっていますので、早めにお申し込みください。

主催

武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科

問い合わせ先

rinkyo@mukogawa-u.ac.jp

## 2017 年度「保育士のためのレベルアップ勉強会」参加申込書

参加はメールでお申し込みください。  
 メールでのお申し込みが困難な方は、FAXまたは郵送でも受付けます。  
 受講時間の変更がある場合はお知らせします。

■ メール の 場 合 : rinkyu@mukogawa-u.ac.jp (下記の①～⑧をご記入の上、お申し込みください)

■ F A X の 場 合 : 0798-45-9913

■ 郵 送 の 場 合 : 〒663-8558 西宮市池開町6-46 武庫川女子大学教育研究所  
 「保育士のためのレベルアップ勉強会」受付係 行  
 (申込書はコピー可)

■ 申 込 み 期 間 : 11月 6日(月)～11月25日(土)

### 申 込 用 紙

① 氏名(ふりがな) (一施設より2名まで)	
② ご所属	_____市 <input type="checkbox"/> 公営 <input type="checkbox"/> 民営
③ 連絡先	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 個人 TEL・FAX : _____ E-mail アドレス : _____
④ ご住所	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅 〒 _____ ※今後の勉強会・講演会等の案内を送付させていただきます。
⑤ 希望時間と検討したい事例	午前 <input type="checkbox"/> 困難を抱える保護者(家族) <input type="checkbox"/> その他( _____ ) 午後 <input type="checkbox"/> 発達障害・気になる子ども <input type="checkbox"/> 障害児を持つ保護者への支援 ※申し込み人数が少ない場合は、午前に両方のテーマで行います。
⑥ 事 例 (担当している気になる事例、 対応の難しい事例など)	
⑦ 現在行っている 対応・支援など	
⑧ 勉強会に期待すること	